

① サポーターサイズの選定を行います

選定方法は、パンフレットをご覧ください。

② サポーターのサイズが決まったら

A・全部脱いでベッドに横になってもらう。(このときは診察台でなく平らなベッド)

B・サポーターの股の内側部分のテープをはずし、両足に通しひざ部分まで履く。

※このテープは必ず保管し、洗濯時に貼り付けて面ファスナーを保護するために使用します。

C・両足の膝を立て、開き気味にする。

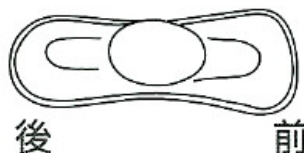
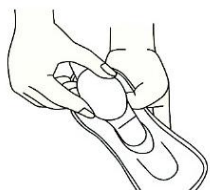


D・臓器が戻っている状態を確認する。(このとき出ているようであれば、体内に戻します。このときトイレットペーパーなどが付いている場合、消毒液を浸した脱脂綿等できれいにしてください)

※粘膜が被れている場合は軟こうなどを処方してください。

E・クッションSとホルダーSをセットする。

※クッションは、患者の見た目の抵抗感と装着時の違和感を軽減することに配慮し、まずSサイズから使用して頂くことをお奨めしております。



F・クッションの上部に外来で使用しているゼリーを塗る。

G・クッションとセットしたホルダーを持ち、クッション部分を膣口に当てる。もし大陰唇などが挟まる感覚がある場合、少し大陰唇を開きクッションを軽く押し当てます。

H・上記の動作をしたまま、サポーターを上まで持ち上げ、面ファスナーになっている股間の内側部分をホルダーと貼り付けます。

I・ベッドから起き上がり立つ。

J・ウエストベルトを固定する。

K・縦のベルトを引き上げ、クッションとホルダーを押し上げ楽な位置を調整する。

◇◇◇これで全体の固定が完了です◇◇◇

◎ 上手に使っていただくための重要なワンポイントアドバイス

- 必ず臓器を体内に戻した状態で固定してください。
- 人によって出てくる時間帯が違うので、出てくる前に装着してください。(辛くなる前に装着)
- 24時間装着する必要はありません。(就寝時は外す)
- クッションは市販のベビーオイルやうるおいゼリーなどと併用すると潤滑材となり違和感が少なくなります。

◎ ご指導いただく方へのお願い

- 外出時のトイレで困らないよう、還納の仕方をご指導ください。
- かぶれた場合は軟こうなどを処方してください。
- 使用開始してから慣れるまでに3日程かかります。その間に面倒くさいなどで使用を中断しないようご指導ください。